

「木質バイオマス熱利用（温水）」 を成功させるための技術研修会

我が国の木質バイオマス熱利用（温水）に対する取組も20年近くになってきていますが、成功事例として推奨できるものが多くなく、標準的な技術として確立できていません。木質バイオマス熱利用は、石油ボイラーを置き換えるだけでは効率的に稼働させることは困難で、木質バイオマスの特性に応じたシステムの構築と運営が必要です。

しかし、我が国では、そのためのあり方が以下のようなことから、ほとんど議論されてきませんでした。

日本の木質バイオマス熱利用の市場規模が小さく、
積極的な取組がなされてこなかったこと

労働安全衛生法におけるボイラー規制の影響で、

日本では独自に無圧式温水機等が開発・普及が進められてきており、
木質バイオマス熱利用に見合った制御システムが構築できていないこと

脱炭素社会を実現していくためには木質バイオマス熱利用の加速度的な拡大を図っていく必要があります。効率的な木質バイオマス熱利用の具体化ができれば、市場規模の拡大が見込まれます。また、当協会の要望等を踏まえ先般の規制改革において、日本でも通常規模の温水ボイラーについては有圧であっても「簡易ボイラー」として取り扱うとされたところです。

この状況下で、当協会として木質バイオマス熱利用の効率的なあり方を標準化した計画実施マニュアルを作成しました。これを受けて、木質バイオマス熱利用施設の計画作成、設計、設置等に取り組まれている方々、今後取り組もうとしている方々に参加いただく研修会を実施いたします。

我が国の 木質バイオマス熱利用の技術的あり方について議論し、効果的で効率的な技術を持って脱炭素社会の実現に貢献しようではありませんか。

開催日：2022年10月19日(水)、20日(木) (各日 4時間、合計8時間)

対象：木質バイオマス熱利用に関わるコンサルタント、設計事務所、
ボイラーメーカー、建設業者等の職員の方々 等

研修内容と講師：

- | | |
|----------------------------|---------|
| ① システム構築の基本的考え方とポイント | |
| 日本木質バイオマスエネルギー協会 顧問 | 加藤 鐵夫 氏 |
| ② ボイラー及び関連機器の設置・利用における留意事項 | |
| 元 巴商会 常務取締役 | 池田 文雄 氏 |
| ③ 熱負荷分析のやり方（実習も含む） | |
| WBエナジー エンジニアリング部 工学博士 | 山崎 尚 氏 |
| ④ システム設計（回路と制御）の考え方と実際 | |
| 小野コンサルティング事務所 代表 | 小野 春明 氏 |
| ⑤ ボイラーの選択、事業性の評価 | |
| 元 神鋼リサーチ 代表取締役 | 黒坂 俊雄 氏 |
| ⑥ 意見交換 | 講師 全員 |

テキスト：

木質バイオマス熱利用（温水）計画実施マニュアル（基本編、実行編）

人数：20名程度

実施方法：WEB形式（Zoom予定）

参加費：6万円（テキスト代金・郵送料込）

※テキストを既に購入・所持している方は5万円

お申し込み方法：専用申込フォームよりご記入ください。

詳細は弊協会HPに掲載している募集要領をご確認ください。

専用申込フォーム



本研修に関するご質問やお問い合わせ(事務局)：mail@jwba.or.jp、03-5817-8491